

薬物乱用 から 子どもたちを守るために



「うちの子には関係ない」と思っていないですか？

子どものために知ってほしい、違法薬物の基礎知識。



大麻を初めて使用した動機(20歳未満)

好奇心・興味本位 …………… 60.5%

その場の雰囲気 …………… 21.5%

出典：警察庁「令和4年における組織犯罪の情勢」より

近年、薬物が密売買される手段として拡大しているのがSNSです。子どもを薬物乱用から守るためには、子どもとのコミュニケーションを通じて、日々の様子を注意深く見守るとともに、**自分を大切**にする気持ちと薬物の誘いを**断る勇気**を持たせることが重要です。

薬物乱用とは？

薬物乱用とは、覚醒剤などの違法薬物や市販されている医薬品の用法・用量を守らず使用することをいいます。たとえ1回だけでも「乱用」です。

最近の薬物問題

近年、大麻事犯の検挙人員が、10代、20代を中心に大きく増加しています。大麻の成分に似せた合成化合物を含むいわゆる「大麻グミ」などの危険ドラッグによる健康被害が発生しています。市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)により、緊急搬送だけでなく死亡事例も報告されています。

乱用される薬物

！ 青少年を中心に拡大中！



大麻※



医薬品の多量摂取



覚醒剤※



MDMA※



コカイン※

※イメージ：「薬物乱用防止読本健康に生きようパート36」より引用

違法薬物は 持たない! 買わない! 使わない! 千葉県

脳 薬物を乱用するとどうなるの？

精神と身体の両面に悪影響を及ぼします。
特に成長期にある青少年の脳は成人に比べて影響を受けやすいため注意が必要です。

現実と記憶の区別がなくなる
(幻覚、幻聴、妄想)

反社会的行動
(幻覚による殺人など)

思ったように
体が動かせない

交通事故

内臓機能の低下

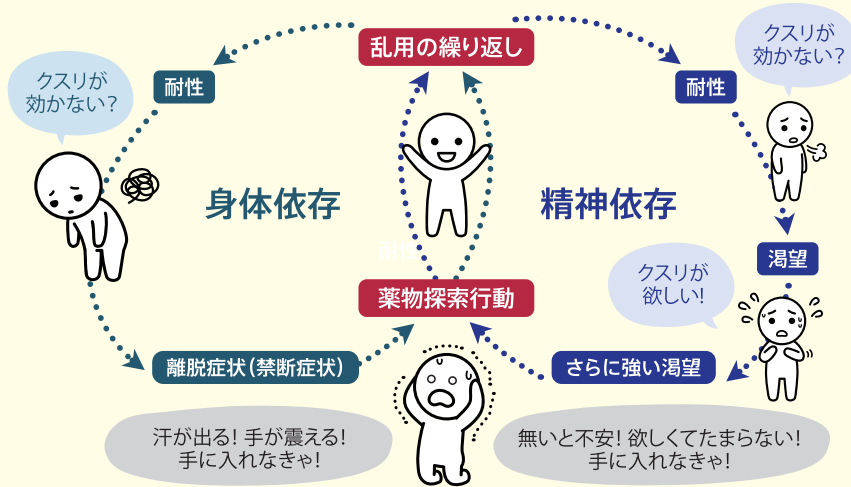
呼吸困難、痙攣、最悪の場合
急性中毒死など

感情のコントロールが
できなくなる

**社会的不適応
人格障害**

薬物乱用の最も恐ろしい特徴は
無意識に薬物の摂取量を増やしてしまう**耐性**と
薬物がないと身体的にも精神的にも保てなくなり
やめられなくなる**依存性**の悪循環です。

依存症は適切な医療や
支援を受けることで
回復することができます



POINT

薬物乱用はあなた自身だけではなく周りの人にも大きな損害を与えます。「乱用しない」という強い意志を持つておくことが重要です。

POINT

薬物依存症の回復には、**専門の治療が必要です。**また、治ったようにみえてもストレスなどが引き金になって、突然、乱用時に体験した幻覚・妄想が再び起こることがあります(フラッシュバック)。

大麻は絶対に使用しない!

大麻(マリファナ)は世界で最も乱用されている薬物です。SNS等における「海外では合法な国があるから安全で有害性がない」などの誤った情報に惑わされず、正しい情報で判断することが大切です。最近では、大麻成分が濃縮されたリキッドやワックスのほか、大麻を含んだクッキーやチョコレートなどが出回っていますので十分に注意しましょう。

薬物乱用の
もっと詳しい情報は
こちら



千葉県HP「薬物乱用防止」ページ

子どもを薬物から守るチェックポイント

- 帰りが遅くなることが多くなった
- 理由のわからないお金を欲しがようになった
- 食事を家族と一緒に食べなくなった
- 知らない上級生や友達と遊ぶようになった

突然行動や言動がおかしくなった...

怪しい荷物が届いた

急に身だしなみに無頓着になった...

秘密
厳守



チーバくん

悩んだ時は、まず相談を。

困った時は1人で悩まずに相談してください。
あなたはひとりではありません。安心して相談できますので
少しでも早くご相談ください。

薬物乱用に関する相談は

千葉県健康福祉部薬務課麻薬指導班

TEL.043-223-2620

千葉県こころセンター
(千葉県精神保健福祉センター/依存症電話相談)

TEL.043-307-3781

千葉県警察少年センターヤング・テレホン

0120-783-497

お近くの健康福祉センター(保健所)・警察署・交番・駐在所